

科目名	言語の構造一般Ⅱ(認知言語学)1~2
授業の目標・ねらい	認知言語学の基本的な考え方を理解し、それを日本語教育と関連づけ、実践に活かせるようになることを目標とします。
授業内容・授業方法	<p>認知言語学の基本的な考え方を、生成文法と対比させて理解します。さらに、言語を支えている基本的な認知能力を挙げ、その認知能力がどのように言語と関わっているかを見ます。</p> <p>また、複数の意味を持つ「多義語」の拡張プロセスとしての「比喻」とその認知的基盤、内容語(動詞や名詞など)が機能語(助動詞や助詞など)に通時的に変化する「文法化」現象等を取り上げて検討します。</p> <p>授業は講義形式を主としますが、グループごとに意見交換を行い、その結果をクラスで共有する活動も取り入れます。</p>
予習・復習	<p>予習:これまでの養成講座の内容(特に言語学関連)を復習しておいてください。</p> <p>復習:配付教材を復習して定着をはかり、さらに知識を増やしたい人は、授業時に紹介する文献を参照してください。</p>
使用テキスト	ハンドアウトを配付します。
参考書等	授業時に紹介します。
講師名	栗田 奈美
所属	拓殖大学外国語学部
研究分野	日本語教育・認知言語学
講師紹介	日本語学習者にとって習得困難な学習項目を認知言語学の枠組みで分析しています。また、ビジネス日本語教育の分野における実践研究も行っています。